

展覧会の開催と図録発行



日本植物画倶楽部展を毎年開催しています。作品の発表の場・交流の場になっています。展覧会図録は、全出品作品をオールカラーで収録し、大好評をいただいています。



理念と目的

倶楽部会員は、植物画を描きまたは鑑賞することを通じて自然に親しむ心を涵養する。

倶楽部は植物画を愛する会員の自由で自発的な活動により、互いに研鑽し、植物画の発展向上を図ることを目的とする。



研修会
梅林正芳氏による植物画講座



交流会

各地で研修会を実施しています。自然観察会、植物園や博物館訪問、専門家による解説や講演などで知識を広め、また、会員同士の親睦を深める絶好の機会です。



大場秀章氏（東京大学名誉教授）による講演
(大場氏は当倶楽部の名誉会員です)

こんな活動もしています



「日本の帰化植物図譜」



「日本の固有植物図譜」



リュウキュウハンゲ（サトイモ科）植田由喜子

創立 10 周年記念事業として、失われていく絶滅危惧植物を植物画で残す活動に取り組み「日本の絶滅危惧植物図譜」を 75 名で 182 点を描いて、2004 年に刊行し、国内各地ならびにワシントンの国立樹木園、シカゴ植物園で原画展を開催しました。続いて「日本の帰化植物図譜」では、押し葉標本作成からはじめ、106 名で 200 点を描いて 2009 年に刊行し、ミュージアムパーク茨城県自然博物館や高知県立牧野植物園で原画展を開催しました。さらに、140 名で 274 点を描いて、2021 年に「日本の固有植物図譜」を刊行しました。